

5 水 質 管 理

本章以降においては、便宜上、試験項目及び管理指標について次表の略称を使用する。

試 験 項 目 等	略 称	試 験 項 目	略 称
水素イオン濃度	pH	カドミウム及びその化合物、 カドミウム又はその化合物	カドミウム
溶存酸素量	DO		
生物学的酸素要求量	BOD	シアン化合物、全シアン	シアン
化学的酸素要求量	COD	鉛及びその化合物、 鉛又はその化合物	鉛
浮遊物質	SS		
窒素含有量	全窒素	亜鉛含有量、 亜鉛及びその化合物	亜鉛
リン含有量、リン含有量	全りん		
活性汚泥浮遊物質	MLSS	アルキル水銀化合物	アルキル水銀
活性汚泥有機性浮遊物質	MLVSS	ポリ塩化ビフェニル	PCB
返送汚泥浮遊物質	RSSS	有機リン化合物、 有機燐化合物	有機りん
返送汚泥有機性浮遊物質	RSVSS		
活性汚泥沈降率	SV	セレン及びその化合物、 セレン又はその化合物	セレン
汚泥容量指標	SVI		
汚泥密度指標	SDI	弗素含有量及びその化合物	ふっ素
生物反応タンク内混合液の 溶存酸素量	MLDO	砒素及びその化合物、 砒素又はその化合物	ひ素
酸化還元電位	ORP	ニッケル含有量、 ニッケル及びその含有量	ニッケル
酸素利用速度係数	Kr		
好気タンク内混合液の 酸素利用速度	r_T	2-クロロ-4,6-ビス(エチル アミノ)-s-トリアジン	シマジン
総括酸素移動容量係数	K_{La}	S-4-クロロベンジル=N,N- ジエチルチオカルバマート	チオベン カルブ
蒸発残留物 (汚泥試験に限る)	固形分	テトラメチルチウラム ジスルフィド	チウラム
強熱減量 (汚泥試験に限る)	有機分	フェノール類含有量	フェノール類
強熱残留物 (汚泥試験に限る)	無機分	溶解性マンガン含有量	溶解性 マンガン
化学的酸素要求量にかかる 汚濁負荷量	COD汚濁 負荷量	溶解性鉄含有量 銅含有量、銅及びその化合物	溶解性鉄 銅
全窒素にかかる汚濁負荷量	T-N汚濁 負荷量	ノルマルヘキサン抽出物質含 有量、n-ヘキサン抽出物質	油分
全リンにかかる汚濁負荷量	T-P汚濁 負荷量	六価クロム化合物 クロム含有量、クロム及び その含有量	六価クロム 全クロム
生物反応タンク内 固形物滞留時間	SRT	ほう素含有量、硼素含有量	ほう素
生物反応タンク内汚泥日令	SA	水銀及びアルキル水銀 その他の化合物、 水銀又はその化合物	総水銀

(1) 概要

- ◎ 令和2年度の流入下水中のBOD、COD、SS、全窒素及び全りん濃度は下表のとおりである。状況としては平成31年度と比較して全項目で低めとなった。
- ◎ 放流水の各濃度及び除去率も下表のとおりである。平成31年度と比較してSSは同程度であったが、BOD、COD、全窒素及び全りんは低めであった。除去率は全窒素が上昇し、BOD、COD、SS及び全りんは概ね同程度であった。
- ◎ 前年度に引き続き、電力、次亜塩素酸ソーダ、PACを主としたユーティリティ費削減を念頭に操作を行い、効率的な除去を目指した運転管理が年間を通じて行われた。処理条件は年間平均値にて以下のとおりであった。

返送率：30.5%，送気倍率：3.3，循環率：43.3% PAC注入率：0.62mg/L

(PAC注入率は年間使用量を年間処理水量で除したものである。PAC注入を実施した時間があった日は年間で217日であった。)

全系列での生物反応槽攪拌機の間欠運転や運転台数削減、及び循環ポンプの通日停止(主に夏季)・返送率の削減運転・加圧濃縮槽稼働池数削減運転等を主とした電力使用量削減運転を行った。令和2年度は、平成31年度に比べて3号焼却炉の稼働期間が長く使用電力量は増加したが、放流流量が増加した影響でエネルギー原単位は前年度比で-3.3%であった。(電力使用量は+2.2%)

- ◎ 放流水の有害物質、各汚濁負荷量の排水基準項目や排出ガス・悪臭・産業廃棄物にかかる有害物質溶出試験等について、基準値の超過はなかった。

項目	単位	令和2年度	平成31年度	平成30年度
流入下水	BOD (mg/L)	118	125	124
	COD (mg/L)	70.5	74.3	76.1
	SS (mg/L)	85	92	97
	全窒素 (mg/L)	22.6	24.3	25.4
	全りん (mg/L)	2.51	2.66	2.69
放流水	BOD (mg/L)	2.1	3.9	2.4
	COD (mg/L)	7.6	8.6	8.2
	SS (mg/L)	<1	<1	<1
	全窒素 (mg/L)	7.7	9.9	8.8
	全りん (mg/L)	1.20	1.26	1.22
除去率	BOD (%)	98.2	96.9	98.1
	COD (%)	89.2	88.4	89.2
	SS (%)	100	100	100
	全窒素 (%)	65.9	59.3	65.4
	全りん (%)	52.2	52.6	54.6

(2). 試験内容

ア 試験内容
 (ア) 水処理関係

試験名	試験回数	試料名	試験項目
平常試験1	2回/月	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、透視度、pH、DO(流入下水、放流水のみ)、 BOD(流入下水、放流水のみ)、 炭素系BOD(放流水のみ)、 COD、SS、大腸菌群数(流入下水、放流水のみ)、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)
平常試験2	2～3回/月	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、透視度、pH、DO(流入下水、放流水のみ)、COD、SS、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)、 大腸菌群数(流入下水、放流水のみ)
平常試験3	1回/週	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、透視度、pH、DO(流入下水、放流水のみ)、 BOD(流入下水、放流水のみ)、 炭素系BOD(放流水のみ)、 COD、SS、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)
中試験	2回/月	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、透視度、pH、DO(流入下水、放流水のみ)、BOD、 炭素系BOD(流入下水、分配井流出水、初沈流出水を除く)、 溶解性BOD(放流水を除く)、COD、 溶解性COD(放流水を除く)、蒸発残留物、 強熱減量、SS、 大腸菌群数(分配井流出水を除く)、 全窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、 硝酸性窒素、有機性窒素、全りん、 りん酸イオン態りん、アルカリ度、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)、 塩化物イオン、よう素消費量(流入下水のみ)、 硫酸イオン(流入下水のみ)

(ア) 水処理関係 続き

試験名	試験回数	試料名	試験項目
富栄養化試験	2回/月	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、全窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、有機性窒素、全りん、りん酸イオン態りん、残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)、塩化物イオン
活性汚泥試験	2回/週	生物反応槽混合液 返送汚泥	水温、MLSS、MLVSS、SV、SVI、MLVSS/MLSS(%）、SDI、浮上時間、pH(混合液は入口、出口)、MLDO(混合液のみ、入口、出口)、ORP(混合液のみ、入口、出口)
活性汚泥試験(K _r 、r _r 等)	随時 (注1)	生物反応槽混合液	水温、K _r 、r _r 、K _{La} 、MLSS、MLDO K _r [*] (ATU)、r _r (ATU)、K _{La} (ATU) (いずれも混合液、出口のみ)
活性汚泥生物試験	随時 (注2)	生物反応槽混合液	活性汚泥生物の定性
活性汚泥生物試験	1回/月 系列毎	生物反応槽混合液	活性汚泥生物の定量

(注1) 水処理状況が悪化傾向にあると判断されるときに実施する。

(注2) 概ね1回/月で実施(定量試験)するほかに、水処理状況が悪化又は回復傾向にあると判断されるときに実施する。(定性試験)

※ATUとはアリルチオ尿素の事であり、硝化作用を制御した分析に用いる試薬を指す。

(イ) 汚泥処理関係試験

試験名	試験回数	試料名	試験項目
汚泥・返送水試験	2回/月	汚泥 重力式濃縮槽: 濃縮汚泥 加圧浮上式濃縮槽: 濃縮汚泥 消化タンク: 円形一次移送汚泥 No.1卵形移送汚泥 No.2卵形移送汚泥 円形二次消化汚泥 脱水機: 供給汚泥 脱水ケーキ	温度(脱水ケーキを除く)、 pH(脱水ケーキを除く)、 固形分、含水率(脱水ケーキのみ)、 有機分、無機分、 アルカリ度(脱水ケーキを除く)、 揮発性有機酸(供給汚泥、脱水ケーキを除く)
		返送水 重力式濃縮槽: 分離液 加圧浮上式濃縮槽: 分離液 消化タンク: 脱離液 脱水機: 脱水ろ液 汚泥焼却炉: 焼却排水 急速ろ過棟: 急ろ洗浄排水	水温、pH、COD、蒸発残留物、 強熱残留物、強熱減量、SS、 溶解性物質、アルカリ度
汚泥・返送水中試験	4回/年 (毎四半期)	汚泥 汚泥・返送水試験 (汚泥)に同じ	温度(脱水ケーキを除く)、 pH(脱水ケーキを除く)、 固形分、含水率(脱水ケーキのみ)、 有機分、無機分、全窒素、全りん、 アルカリ度(脱水ケーキを除く)、 揮発性有機酸(供給汚泥、脱水ケーキを除く)
		返送水 汚泥・返送水試験 (返送水)に同じ 総合返送水	水温、pH、BOD、炭素系BOD、COD、 蒸発残留物、強熱残留物、強熱減量、 SS、溶解性物質、全窒素、 アンモニア性窒素、全りん、 りん酸イオン態りん、アルカリ度
消化ガス試験	1回/月	円形一次消化タンク No.1卵形一次消化タンク No.2卵形一次消化タンク 円形二次消化タンク 脱硫設備入口 脱硫設備中間 脱硫設備出口	メタン、水素、二酸化炭素、酸素、 窒素、硫化水素

(ウ) その他の試験

試験名	試験回数	試料名	試験項目
有害物質等試験	2回/月 流入下水で指定の項目については4回/年	流入下水 放流水	カドミウム、シアン、有機りん、鉛、六価クロム、 ひ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、 ジクロロメタン、四塩化炭素、 1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、 シス-1,2-ジクロロエチレン、 1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、 1,3-ジクロロプロペン、チラウム、シマジン、 チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ほう素、 ふっ素、ノルマルヘキサン抽出物質含有量 フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、 溶解性マンガン、全クロム、ニッケル、 1,4-ジオキサン、BOD、COD、全窒素、 全りん、SS、大腸菌群数
管渠下水水質試験	2回/年	東幹線： 東部 北向日 南向日 羽東師 西淀 No.7-1 西淀 No.7-2 西幹線： 西部 西長岡 中央長岡 東長岡 南長岡 南幹線： 大山崎	pH、BOD、SS、ヘキサン抽出物質※、 全窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、 硝酸性窒素、全りん、よう素消費量、 硫酸イオン、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、 溶解性マンガン、全クロム、ニッケル、カドミウム、 シアン、有機りん、鉛、六価クロム、ひ素、 総水銀、PCB、トリクロロエチレン、 テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、 四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、 1,1-ジクロロエチレン、 シス-1,2-ジクロロエチレン、 1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、 1,3-ジクロロプロペン、チラウム、シマジン、 チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ほう素、 ふっ素、1,4-ジオキサン、 (以上、全測定地点)
微量有機塩素化合物等試験	4回/年 (毎四半期)	放流水	クロロホルム、 プロモジクロロメタン、ジブromokロロメタン、 プロモホルム、総トリハロメタン、 (以上、トリハロメタン) クロロホルム生成能、 プロモジクロロメタン生成能、 ジブromokロロメタン生成能、 プロモホルム生成能、 総トリハロメタン生成能 (以上、トリハロメタン生成能) アルミニウム、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、 トリクロロ酢酸、臭素酸、ホルムアルデヒド、 陰イオン界面活性剤、非イオン界面活性剤、 水温、pH

※ ヘキサン抽出物質については鉱物油類と動植物油脂類に分けて結果表示

(ウ) その他の試験 続き

試験名	試験回数	試料名	試験項目
脱水ケーキ、沈砂、し渣等有害物質試験	2回/年 (夏・冬期) 試料・項目により 1回/年	溶出試験: 埋立処分(海面除く) 沈砂 し渣 脱水ケーキ 焼却灰 抜取灰 脱硫剤(2種類) ボエフ(年1回) 溶出試験: 埋立処分 焼却灰 含有試験: 沈砂 し渣 脱水ケーキ 焼却灰 抜取灰	溶出試験: カドミウム、シアン、有機りん、鉛、六価クロム、 ひ素、総水銀、アルキル水銀、 PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、 ジクロロメタン、四塩化炭素、 1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、 シス-1,2-ジクロロエチレン、1,4-ジオキサン、 1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、 1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、 チオベンカルブ、ベンゼン、セレン 含有試験: ヘキサン抽出物質、けい素、アルミニウム、鉄、 カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウム、 チタン、りん、マンガン、塩素、クロム、鉛、ひ素、 セレン(以上、脱水ケーキ、焼却灰、抜取灰[年1回]) 含水率、硫黄、熱しゃく減量 ダイオキシン類、水銀 (以上、脱水ケーキ、焼却灰、抜取灰) 含水率、水銀 (以上、沈砂、し渣[年1回])
排ガス等試験	1~2回/年 ダイオキシン類は1回/年	[ダイオキシン類] (夏期のみ) 3号焼却炉排出口 (煙突入口) 流入下水 放流水 返送水 [排ガス] 加温用ボイラー No.1温水ボイラー No.2温水ボイラー 3号焼却炉排出口 (煙突入口)	[ダイオキシン類] (3号焼却炉排出口、流入下水、放流水、返送水) [排ガス] 排ガス温度、排ガス流速、水分量、組成等(二酸化炭素、一酸化炭素、酸素、窒素) 排ガス流量(湿り)、排ガス流量(乾き)、ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物(以上、各ボイラー、3号焼却炉排出口) 塩化水素、シアン化水素、硫酸、ふっ素、ひ素、水銀、全クロム、亜鉛、(以上、3号焼却炉排出口のみ)
CODとUVの 相関試験	1回/年	放流口 UV計	COD (UV計の計測値とCOD実測結果より直線回帰換算式と散布図を作成し、相関・分散検定を行う)

(ウ) その他の試験 続き

試験名	試験回数	試料名	試験項目
クリプトスポリジウム試験	4回/年	放流水	クリプトスポリジウム
作業環境中のダイオキシン類試験	一/年 (夏・冬期)	3号焼却炉-灰搬出 作業場所 脱水機棟2階 中央管理室	作業環境中のダイオキシン類として ガス状ダイオキシン類 粒子状ダイオキシン類 ガス状ダイオキシン類+粒子状 ダイオキシン類 (但し、冬期は粉塵濃度のみの測定とし、夏 期に求めたD値を用いて濃度を算出する)
悪臭物質等 試験	1回/年 (夏期)	敷地境界 排気ファン出口 脱臭装置: 入口 出口 作業環境: 沈砂池等 脱水機棟 排水中の悪臭: 放流水	天候・気温・温度、流速・流量、硫化水素等6物質、14物質、 アセトアルデヒド、プロピオン酸 (以上、排気ファン出口、A,B系脱臭装置入口No.1、No.2、A,B系脱臭 装置出口、 脱水機棟脱臭装置入口No.1、No.2、脱水機棟脱臭装置出口) 天候・気温・温度、流速・流量、硫化水素等6物質 (以上、第1ポンプ棟脱臭装置入口、出口、E系脱臭装置入口、出 口、 重力脱臭装置入口、出口、焼却炉脱臭設備入口、出口) 天候・気温・温度、流速・流量、硫化水素等6物質、プロピオン酸、2 物質 (以上、C,D系脱臭装置入口No.1、No.2、C,D系脱臭装置出口、 沈査し渣処理棟脱臭装置入口、出口、) 天候・気温・温度、流速・流量、硫化水素等6物質、プロピオン酸 (以上、加圧脱臭装置入口No.1、No.2、加圧脱臭装置出口) 天候・気温・温度、湿度、風向・風速、硫化水素等6物質、 アセトアルデヒド、プロピオン酸、2物質 (以上、旧五間堀川付近敷地境界、ゲート棟北側敷地境界、濃縮棟 西側敷地境界、 焼却炉西側敷地境界、塩素混和池南側敷地境界、水処理棟東側 敷地境界 急速ろ過棟東側敷地境界、公園駐車場東側敷地境界) 天候・気温・温度、流速・流量、排水中の悪臭4物質 (以上、放流水1)

注) 硫化水素等6物質: アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル、トリメチルアミン
 14物質: プロピオンアルデヒド、ノルマルブチルアルデヒド、イソブチルアルデヒド、
 ノルマルバレールアルデヒド、イソバレールアルデヒド、イソブタノール、酢酸エチル、
 メチルイソブチルケトン、トルエン、スチレン、キシレン、ノルマル酪酸、
 ノルマル吉草酸、イソ吉草酸
 4物質: プロピオンアルデヒド、ノルマルブチルアルデヒド、イソバレールアルデヒド、ノルマル酪酸
 2物質: ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸
 排水中の悪臭4物質: メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル

(ウ) その他の試験 続き

試験名	試験回数	試料名	試験項目
再生利用水試験	4回/年 (毎四半期)	急ろ処理水としての 修景用水(アメニティ 送水) 水洗用水(公園送 水)	濁度、pH、外観、臭気 (以上、修景用水・水洗用水) 大腸菌群、色度 (以上、修景用水) 大腸菌、残留塩素[遊離、結合] (以上、水洗用水)

(エ) 試料採取時刻

試験種類	採取時刻及び方法
平常試験	24時間混合試料 (有機塩素系化合物についてはスポット採取)
中試験	
富栄養化試験	
有害物質等試験	
活性汚泥試験	スポット採水(9時30分頃)
再生利用水試験	
活性汚泥(Kr)試験	適時採水
活性汚泥生物試験	
微量有機塩素化合物等試験	
CODとUVの相関分析試験	
クリプトสปォリジウム試験	
汚泥・返送水試験	スポット採取 (施設運転状況により適時採取)
汚泥・返送水中試験	
消化ガス試験	適時採取
その他のガス状検体	
脱水ケーキ、沈砂、し渣等	
焼却灰等の固形試料	

イ. 試験方法

(ア) 平常試験・中試験・富栄養化試験

試験項目	単位	試験方法	備考
水温	℃	規格7.2	
透視度	度	下水2.1.6	
pH	—	規格12.1	ガラス電極法
DO	mg/L	下水2.1.19.2	隔膜電極法
BOD	mg/L	規格21	
炭素系BOD	mg/L	規格21備考1	
溶解性BOD	mg/L	規格21	試料をガラス繊維ろ紙にてろ過後分析
COD	mg/L	規格17	
溶解性COD	mg/L	規格17	試料をガラス繊維ろ紙にてろ過後分析
蒸発残留物	mg/L	下水2.1.9	
強熱減量	mg/L	下水2.1.11	
SS	mg/L	告示59号付表9	ガラス繊維ろ紙法
大腸菌群数	個/cm ³	省令第1号又はこれに準ずる方法	
全窒素	mg/L	規格45.2	下水2.1.29.1に準じる
アンモニア性窒素	mg/L	規格42.5	イオンクロマトグラフ法
亜硝酸性窒素	mg/L	規格43.1	イオンクロマトグラフ法
硝酸性窒素	mg/L	規格43.2.5	イオンクロマトグラフ法
有機性窒素	mg/L	規格44	ケルダール窒素法
全りん	mg/L	規格46.3.1	ペルオキソ二硫酸カリウムによる分解法
りん酸イオン態りん	mg/L	下水2.1.30.1.(1)	
塩化物イオン	mg/L	下水2.1.31.3	イオンクロマトグラフ法
硫酸イオン	mg/L	下水2.1.32.4	イオンクロマトグラフ法
よう素消費量	mg/L	省令第1号	
アルカリ度	mg/L	下水2.1.15.1	総アルカリ度
残留塩素・遊離残留塩素	mg/L	下水2.1.37.1(1)(2)	ジエチル-p-フェニレンジアミン法

(イ) 活性汚泥試験

試験項目	単位	試験方法	備考
水温	℃	下水4.1.2	
pH	—	下水4.1.4	ガラス電極法
ML(RS)SS	mg/L	下水4.1.6.1	遠心分離法
ML(RS)VSS	mg/L	下水4.1.7	
ML(RS)VSS/ML(RS)SS	%	下水4.1.7	

(イ) 活性汚泥試験 (続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
SV	%	下水4.1.8.1	活性汚泥容量率
SVI	—	下水4.1.8.2	汚泥容量指標
SDI	—	下水4.1.8.3	汚泥密度指標
MLDO	mg/L	下水4.1.9.1	隔膜電極法
K _r	mgO ₂ /h·g	下水4.1.10.1	隔膜電極法
r _r	mgO ₂ /h·L	下水4.1.10.1	隔膜電極法
K _{La}	1/h	下水4.2.1	
ORP	mV	下水4.1.5	
浮上時間	min	—	

(ウ) 汚泥試験・汚泥中試験

試験項目	単位	試験方法	備考
水温 ▲	℃	下水5.1.2	ガラス製棒状温度計
pH ▲	—	下水5.1.5	ガラス電極法
COD ※	mg/L	下水2.1.22.1	
蒸発残留物 ※	mg/L	下水5.1.6	
強熱残留物 ※	mg/L	下水5.1.7	
強熱減量 ※	mg/L	下水5.1.8	
SS ※	mg/L	下水5.1.9	ガラス繊維ろ紙法
溶解性物質 ※	mg/L	下水2.1.13	
アルカリ度 ▲	mg/L	下水5.1.13	
固形分 ●	%	下水5.1.6	
含水率 ◎	%	下水5.1.6	
有機分 ●	%	下水5.1.8	
無機分 ●	%	下水5.1.7	
BOD ※	mg/L	下水2.1.21.1	
炭素系BOD ※	mg/L	下水2.1.21.2	
有機性窒素 ※	mg/L	下水2.1.28(1),(2)	
全窒素	mg/L	下水5.1.18.1	ケルダール窒素法
揮発性有機酸 △	mg/L	下水5.1.14	水蒸気蒸留法
アンモニア性窒素 ※	mg/L	下水5.1.17	
全りん	mg/L	下水5.1.19.2	ペルオキシ二硫酸カリウムによる分解法
りん酸イオン態りん ※	mg/L	下水2.1.30.1.(1)	
全窒素 ◎	%	下水5.1.18	
全りん ◎	%	下水5.1.19.2	ペルオキシ二硫酸カリウムによる分解法

※は分離液のみ ●は汚泥のみ ◎は脱水ケーキのみ ▲は脱水ケーキを除く △供給汚泥、脱水ケーキを除く

(エ) 消化ガス試験

試験項目	単位	試験方法	備考
メタン	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
水素	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
二酸化炭素	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
酸素	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
窒素	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
硫化水素	ppm	下水5.5.3.4	検知管法

(オ) 有害物質等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
カドミウム	mg/L	規格55.3	ICP発光分光分析法
カドミウム★		規格55.4	ICP質量分析法
シアン	mg/L	規格38.1.2, 38.5	オートアナライザーによる分析方法
有機りん	mg/L	告示64号 付表1	
鉛	mg/L	規格54.3	ICP発光分光分析法
鉛★		規格54.4	ICP質量分析法
六価クロム	mg/L	規格65.2.1	ジフェニルカルバジド吸光度法
ひ素	mg/L	規格61.3	水素化合物発生ICP発光分光分析法
ひ素★		規格61.4	ICP質量分析法
総水銀	mg/L	告示59号 付表2	
アルキル水銀	mg/L	告示59号 付表3, 64号 付表3	
PCB	mg/L	規格K0093.5, 6 備考4	
トリクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
テトラクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
ジクロロメタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
四塩化炭素	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,2-ジクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
シマジン	mg/L	告示59号 付表6第1	
チウラム	mg/L	告示59号 付表5	
チオベンカルブ	mg/L	告示59号 付表6第1	
ベンゼン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法

★は放流水についての分析方法。流入下水については従来の方法で分析を行う

(オ) 有害物質等試験(続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
セレン	mg/L	規格67.3	水素化合物発生ICP発光分光分析法
セレン★		規格67.4	ICP質量分析法
ふっ素	mg/L	規格34.1 c),34.4	オートアナライザーによる分析方法
ほう素	mg/L	規格47.3	ICP発光分光分析法
ほう素★		規格47.4	ICP重量分析法
1,4-ジオキサン	mg/L	告示59号 付表8	
油分	mg/L	告示64号 付表4	
フェノール類	mg/L	規格28.1	オートアナライザーによる分析方法
銅	mg/L	規格52.4	ICP発光分光分析法
銅★		規格52.5	ICP質量分析法
亜鉛	mg/L	規格53.3	ICP発光分光分析法
亜鉛★		規格53.4	ICP質量分析法
溶解性鉄	mg/L	規格57.4 備考14	ICP発光分光分析法
溶解性マンガン	mg/L	規格56.4 備考8	ICP発光分光分析法
全クロム	mg/L	規格65.1.4	ICP発光分光分析法
全クロム★		規格65.1.5	ICP質量分析法
ニッケル	mg/L	規格59.3	ICP発光分光分析法
ニッケル★		規格59.4	ICP質量分析法
BOD	mg/L	規格21	光学式
COD	mg/L	規格17	
SS	mg/L	告示59号 付表9	
全窒素	mg/L	規格45.1又は45.2	
全りん	mg/L	規格46.3.1	
大腸菌群数	個/cm ³	省令第1号又はこれに準ずる方法	

★は放流水についての分析方法。流入下水については従来の方で分析を行う

(カ) 管渠下水水質試験

試験項目	単位	試験方法	備考
pH	—	規格12.1	ガラス電極法
BOD	mg/L	規格21.32.4	
SS	mg/L	告示59号 付表9	ガラス繊維ろ紙法
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)	mg/L	告示64号 付表4及び規格I.1	
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂)		告示64号 付表4及び規格I.2	
全窒素	mg/L	規格45.2	紫外線吸光度法
アンモニア性窒素	mg/L	規格45.5	イオンクロマトグラフ法
亜硝酸性窒素	mg/L	規格43.1.2	イオンクロマトグラフ法
硝酸性窒素	mg/L	規格43.2.5	イオンクロマトグラフ法
全りん	mg/L	規格46.3.1	ペルオキソ二硫酸カリウムによる分解法
よう素消費量	mg/L	下水2.1.35	

(カ) 管渠下水水質試験(続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
硫酸イオン	mg/L	下水2.1.32.4	イオンクロマトグラフ法
フェノール類	mg/L	規格28.1	流れ分析法
銅	mg/L	規格52.4	ICP発光分光分析法
亜鉛	mg/L	規格53.3	ICP発光分光分析法
鉄(溶解性)	mg/L	規格57.4 備考 14	ICP発光分光分析法
マンガン(溶解性)	mg/L	規格56.4 備考 8	ICP発光分光分析法
全クロム	mg/L	規格65.1.4	ICP発光分光分析法
ニッケル	mg/L	規格59.3	ICP発光分光分析法
カドミウム	mg/L	規格55.3	ICP発光分光分析法
シアン	mg/L	規格38.1.2, 38.5	
有機りん	mg/L	告示64号 付表1	
鉛	mg/L	規格54.3	ICP発光分光分析法
六価クロム	mg/L	規格65.2.1	ジフェルニカルバジド吸光度法
ひ素	mg/L	規格61.3	水素化物発生ICP発光分光分析法
総水銀	mg/L	告示59号 付表1	還元気化原子吸光法
トリクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
テトラクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
ジクロロメタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
四塩化炭素	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,2-ジクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
ベンゼン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
セレン	mg/L	規格67.3	水素化物発生ICP発光分光分析法
ほう素	mg/L	規格47.3	ICP発光分光分析法
ふっ素	mg/L	規格34.1c),34.4	
1,4-ジオキサン	mg/L	告示59号 付表8	HS-GC-MS法

(キ) 再生利用水試験

試験項目	単位	試験方法	備考
大腸菌群数	個/100ml	下水6.4.2	
色度	度	下水2.1.4	
濁度	度	下水2.1.5	
pH	—	規格12.1	ガラス電極法

(キ) 再生利用水試験 (続き)

外観	—	下水2.1.3	
臭気	—	下水2.1.7	
大腸菌	—	上水試験方法1.5.2	
残留塩素・遊離残留塩素	mg/L	下水2.1.37.1	ジエチル- <i>p</i> -フェニレンジアミン法

(ク) 微量有機塩素化合物等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
クロロホルム	mg/L	告示261号 別表15	HS-GC-MS法
プロモジクロロメタン	mg/L	告示261号 別表15	HS-GC-MS法
ジプロモクロロメタン	mg/L	告示261号 別表15	HS-GC-MS法
プロモホルム	mg/L	告示261号 別表15	HS-GC-MS法
総トリハロメタン	mg/L	告示261号 別表15	
クロロホルム生成能	mg/L	告示219号	HS-GC-MS法
プロモジクロロメタン生成能	mg/L	告示219号	HS-GC-MS法
ジプロモクロロメタン生成能	mg/L	告示219号	HS-GC-MS法
プロモホルム生成能	mg/L	告示219号	HS-GC-MS法
総トリハロメタン生成能	mg/L	告示219号	
アルミニウム	mg/L	告示261号 別表6	ICP-発光分光分析法
クロロ酢酸	mg/L	告示261号 別表17	溶媒抽出-GC-MS法
ジクロロ酢酸	mg/L	告示261号 別表17	溶媒抽出-GC-MS法
トリクロロ酢酸	mg/L	告示261号 別表17	溶媒抽出-GC-MS法
臭素酸	mg/L	告示261号 別表18	イオンクロマト-ポストカラム吸光度法
ホルムアルデヒド	mg/L	告示261号 別表19	溶媒抽出-誘導体化-GC-MS法
陰イオン界面活性剤	mg/L	下水2.1.41.1	メチレンブルー吸光度法
非イオン界面活性剤	mg/L	告示261号 別表28	
水温	℃	規格7.2	
pH	—	規格12.1	ガラス電極法

(ケ) 自動計測器保守管理

試験項目	単位	試験方法	備考
COD汚濁負荷量	kg/日	昭和54年環境庁告示第20号	
T-N汚濁負荷量	kg/日	平成13年環境省告示第77号	
T-P汚濁負荷量	kg/日	平成13年環境省告示第78号	

(コ) クリプトスポリジウム試験

試験項目	単位	試験方法	備考
クリプトスポリジウム	個/L	下水処理のクリプトスポリジウム対策に関する暫定方針(案)	

(サ) 脱水ケーキ、沈砂、し渣等有害物質 [溶出試験]

試験項目	単位	試験方法	備考
カドミウム	mg/L	規格55.3	ICP発光分光分析法
シアン	mg/L	規格38.1.2, 38.5	オートアナライザーによる分析方法
有機りん	mg/L	告示64号 付表1	
鉛	mg/L	規格54.3	ICP発光分光分析法
六価クロム	mg/L	規格65.2.1	ジフェニルカルバジド吸光光度法
ひ素	mg/L	規格61.3	水素化物発生ICP発光分光分析法
総水銀	mg/L	告示59号 付表2	還元気化原子吸光法
アルキル水銀	mg/L	告示59号 付表3, 告示64号 付表3	ガスクロマトグラフ法
PCB	mg/L	規格K0093	
トリクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	
テトラクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	
ジクロロメタン	mg/L	規格K0125.5.2	
四塩化炭素	mg/L	規格K0125.5.2	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	規格K0125.5.2	
チウラム	mg/L	告示59号 付表5	
シマジン	mg/L	告示59号 付表6第1	
チオベンカルブ	mg/L	告示59号 付表6第1	
ベンゼン	mg/L	規格K0125.5.2	
セレン	mg/L	規格67.3	
ほう素	mg/L	規格K0102.47.3	
ふっ素	mg/L	規格34.1 c), 34.4	オートアナライザーによる分析方法
1,4-ジオキサン	mg/L	告示59号 付表8	HS-GC-MS法

(シ) 脱水ケーキ、沈砂、し渣等有害物質 [含有試験]

試験項目	単位	試験方法	備考
油分	mg/kg	下水5.1.24	
含水率	%	下水5.1.6	
熱しゃく減量	%	下水5.1.8	昭和52年11月4日環境整第95号厚生省環境衛生局水道環境部環境整備課長通知
けい素	%	下水3.2.28	
アルミニウム	%	ICP発光分光分析法	
鉄	%	ICP発光分光分析法	
カルシウム	%	ICP発光分光分析法	
ナトリウム	%	ICP発光分光分析法	
マグネシウム	%	ICP発光分光分析法	
硫黄	%	下水5.1.22	
カリウム	%	ICP発光分光分析法	
チタン	%	ICP発光分光分析法	
りん	%	下水5.1.19	
マンガン	mg/kg	ICP発光分光分析法	
塩素	%	下水5.1.21	
クロム	%	ICP発光分光分析法	

(シ) 脱水ケーキ、沈砂、し渣等有害物質〔含有試験〕(続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
鉛	mg/kg	ICP発光分光分析法	
ひ素	mg/kg	水素化物発生ICP法	
セレン	mg/kg	水素化物発生ICP法	
水銀	mg/kg	底質調査方法Ⅱ 5.14.1.2	
ダイオキシン類	ng-TEQ/g	告示第13号	GC-MS法

(ス) 排ガス等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
CO ₂	%	規格K0301.7.1	オルザット法
O ₂	%	規格K0301.7.1	オルザット法
CO	%	規格K0098.7	
N ₂	%	規格K0301.7.1	オルザット分析方法
排ガス温度	℃	規格Z8808.6	
排ガス流速	m/s	規格Z8808.8.3	
水分量	%	規格Z8808.7.1	吸湿管法
(湿り)流量	Nm ³ /h	規格Z8808.8.4.1(a)	
(乾き)流量	Nm ³ /h	規格Z8808.8.4.2	
ばいじん	g/h	規格Z8808.10,11	
硫酸化物	cm ³ /Nm ³	規格K0103.7.1	イオンクロマトグラフ法
窒素酸化物	cm ³ /Nm ³	規格K0104.7.3	イオンクロマトグラフ法
塩化水素	cm ³ /Nm ³ mg/Nm ³	規格K0107.7.3	イオンクロマトグラフ法
シアン	mg/Nm ³	規格K0109.7	ガスクロマトグラフ法
硫酸	mg/Nm ³	規格K0103.7.1 準拠	イオンクロマトグラフ法
ふっ素	mg/Nm ³	規格K0105.7.1	ランタン-アリサリンコンプレキソン吸光光度法
ひ素	mg/Nm ³	規格K0083.14.5	ICP質量分析法
総水銀(ガス状、 粒子状の合計)	mg/Nm ³	環境省告示第94号	
カドミウム	mg/Nm ³	規格K0083	
鉛	mg/Nm ³	規格K0083	
ニッケル	mg/Nm ³	規格K0083	
銅	mg/Nm ³	規格K0083	
マンガン	mg/Nm ³	規格K0083	
全クロム	mg/Nm ³	規格K0083.12.5	ICP質量分析法
亜鉛	mg/Nm ³	規格K0083準拠	
ダイオキシン類(水質)	pg-TEQ/L	規格K0312	
ダイオキシン類(排ガス)	ng-TEQ/m ³	規格K0311	

(七) 悪臭物質等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
アンモニア	volppm	告示9号 別表1	
メチルメルカプタン	volppm	告示9号 別表2	
硫化水素	volppm	告示9号 別表2	
硫化メチル	volppm	告示9号 別表2	
二硫化メチル	volppm	告示9号 別表2	
トリメチルアミン	volppm	告示9号 別表3	
アセトアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
プロピオンアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
ノルマルブチルアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
イソブチルアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
ノルマルパレルアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
イソパレルアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
イソブタノール	volppm	告示9号 別表5	
酢酸エチル	volppm	告示9号 別表6	
メチルイソブチルケトン	volppm	告示9号 別表6	
スチレン	volppm	告示9号 別表7	
キシレン	volppm	告示9号 別表7	
トルエン	volppm	告示9号 別表7	
プロピオン酸	volppm	告示9号 別表8	
ノルマル酪酸	volppm	告示9号 別表8	
ノルマル吉草酸	volppm	告示9号 別表8	
イソ吉草酸	volppm	告示9号 別表8	
硫化水素(排水)	mg/L	告示9号 別表2	
メチルメルカプタン(排水)	mg/L	告示9号 別表2	
硫化メチル(排水)	mg/L	告示9号 別表2	
二硫化メチル(排水)	mg/L	告示9号 別表2	

(ソ) 作業環境中のダイオキシン類試験

試験項目	単位	試験方法	備考
ダイオキシン類(夏期)	pg-TEQ/m ³	基発第401号の2	
ダイオキシン類(冬期)	pg-TEQ/m ³	総粉塵D値換算	粉塵濃度を測定しD値を求める

注)

- 下 水 : 下水試験方法(2012)
- 規 格 : 日本工業規格JIS K 0102(2008)環境測定Ⅱ〔水質〕工場排水試験方法
- 規 格 K 0083 : 日本工業規格JIS K 0083(2008)環境測定Ⅰ〔大気・騒音・振動〕排ガス中の金属分析方法
- 規 格 K 0093 : 日本工業規格JIS K 0093(2008)環境測定Ⅱ〔水質〕用水排水中のポリクロロビフェニル(PCB)の試験方法
- 規 格 K 0098 : 日本工業規格JIS K 0098(2008)環境測定Ⅰ〔大気・騒音・振動〕排ガス中の一酸化炭素分析方法
- 規 格 K 0103 : 日本工業規格JIS K 1013(2008)環境測定Ⅰ〔大気・騒音・振動〕排ガス中の硫黄酸化物分析方法
- 規 格 K 0104 : 日本工業規格JIS K 0104(2008)環境測定Ⅰ〔大気・騒音・振動〕排ガス中の窒素酸化物分析方法
- 規 格 K 0105 : 日本工業規格JIS K 0105(2008)環境測定Ⅰ〔大気・騒音・振動〕排ガス中のふっ素化合物分析方法
- 規 格 K 0107 : 日本工業規格JIS K 0107(2008)環境測定Ⅰ〔大気・騒音・振動〕排ガス中の塩化水素分析方法
- 規 格 K 0109 : 日本工業規格JIS K 0109(2008)環境測定Ⅰ〔大気・騒音・振動〕排ガス中のシアン化水素分析方法
- 規 格 K 0222 : 日本工業規格JIS K 0222(2008)環境測定Ⅰ〔大気・騒音・振動〕排ガス中の水銀分析方法
- 規 格 K 0301 : 日本工業規格JIS K 0301(2008)環境測定Ⅰ〔大気・騒音・振動〕排ガス中の酸素分析方法
- 規 格 K 0125 : 日本工業規格JIS K 0125(2008)環境測定Ⅱ〔水質〕用水・排水中の揮発性有機化合物試験方法
- 規 格 K 0312 : 日本工業規格JIS K 0312(2008)環境測定Ⅱ〔水質〕工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法
- 規 格 Z 8808 : 日本工業規格JIS Z 8813(2008)環境測定Ⅰ〔大気・騒音・振動〕排ガス中のダスト濃度の測定方法
- 省 令 第 1 号 : 昭和37年12月17日厚生省・建設省令第1号「下水の水質の検定方法に関する省令」
- 告 示 9 号 : 昭和47年5月30日 環境庁告示第9号, 改正平成12年3月28日環境庁告示第17号〔特定悪臭物質の測定の
方法〕
- 告 示 59 号 : 昭和46年12月28日 環境庁告示59号〔水質汚濁に係る環境基準について〕最終改正(平成24年8月22日
環庁省告示127号)
- 告 示 64 号 : 昭和49年9月30日 環境庁告示64号〔排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準
に係る検定方法〕(最終改正 平成24年5月23日 環境省告示86号)
- 告 示 192 号 : 平成4年7月3日 厚生省告示第192号別表1
溶出液の作成は昭和48年2月17日 環境庁告示13号〔産業廃棄物に含まれる金属等の
検定方法〕(最終改正 平成15年3月3日 環境省告示15号)による
- 告 示 261 号 : 平成15年7月22日 厚生労働省告示第261号〔水質基準に関する省令〕
- 告 示 219 号 : 平成6年7月4日 厚生労働省告示219号〔水質基準に関する省令の表の上欄に掲げる事項以外の事項に
係わる水質の検査の方法〕
- 基 発 401 号 : 平成13年4月 厚生労働省基発401号の2〔廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対
策要綱〕
- 総 理 府 令 67 号 : 平成11年12月27日 総理府令第67号 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第2条-1〔排ガス中のダイ
オキシン類の測定方法〕
- 上 水 試 験 方 法 : 上水試験方法 2001年版 特定酵素基質培地法 XGal-MUG法

(3) 数値の取り扱い方法

(ア) 有効数字について

- ① 気温、水温(温度)、pHは、読み取り数値を小数点以下1桁とし、読み取った数値は全て有効数字である。
- ② 分析操作によって得られた有効数字は、項目ごとの(別表1)に示す桁数とし、その下の桁をJIS Z-8401により丸める。
 - ・生活環境保全に関する項目のうち(別表1)に示す項目は、原則として3桁とする。
 - ・活性汚泥項目(別表2)は原則として3桁とする。
 - ・その他重金属は、2桁とする。
- ③ 報告最小位は、項目ごと別表(1~3)に示し、報告最小位の下桁を、JIS Z-8401により丸める。
- ④ 定量下限値を下回る数値は、切捨てとし、「< 定量下限値」で表示する。

(イ) 平均値について

- ① 報告値を用いて平均値を算出し、有効数字のその下の桁を四捨五入とする。
- ② 平均値については、定量下限値未満の数値は「0」として算出し、平均値が定量下限値未満となる場合は「< 定量下限値」と表示する。
(透視度(>100)については、「100」として算出する。
- ③ 最大値、最小値、平均値の表記は「最大、最小、平均」とする。

(別表1)

試 験 項 目	(単位)	記 載 方 法		
		有 効 数 字	最 小 位	最 小 数 字
pH		全桁	小数点以下1桁	-
BOD	(mg/L)	3桁	〃	0.1
SS	(mg/L)	3〃	整 数 1 位	<1
大腸菌群数	(個/cm ³)	2〃	〃	0

(別表2)

試 験 項 目	(単位)	記 載 方 法		
		有 効 数 字	最 小 位	最 小 数 字
水温	(℃)	全桁	小数点以下1桁	-
ML(RS)SS	(mg/L)	3桁	整 数 1 位	0
ML(RS)VSS	(mg/L)	3〃	〃	0
ML(RS)VSS/ML(RS)SS	(%)	3〃	小数点以下1桁	0.0
SV	(%)	2〃	整 数 1 位	0
SVI		3〃	〃	0
MLDO	(mg/L)	2〃	小数点以下1桁	0.0

(別表3)

区分	試験項目	定量限界 (mg/L)	記載方法		
			有効数字	最小位	最小数字
有害物質	カドミウム	0.001	2桁	小数点以下3桁	<0.001
	シアン	0.05	2桁	" 2桁	<0.05
	有機りん	0.01	2桁	" 2桁	<0.01
	鉛	0.006	2桁	" 3桁	<0.006
	六価クロム	0.04	2桁	" 2桁	<0.04
	ひ素	0.001	2桁	" 3桁	<0.001
	総水銀	0.0005	2桁	" 4桁	<0.0005
	アルキル水銀	0.0005	2桁	" 4桁	<0.0005
	PCB	0.0005	2桁	" 4桁	<0.0005
	トリクロロエチレン	0.008	2桁	" 3桁	<0.008
	テトラクロロエチレン	0.002	2桁	" 3桁	<0.002
	ジクロロメタン	0.002	2桁	" 3桁	<0.002
	四塩化炭素	0.0002	2桁	" 4桁	<0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0004	2桁	" 4桁	<0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.002	2桁	" 3桁	<0.002
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.004	2桁	" 3桁	<0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.03	2桁	" 2桁	<0.03
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0006	2桁	" 4桁	<0.0006
	1,3-ジクロロプロペン	0.0002	2桁	" 4桁	<0.0002
	チウラム	0.0006	2桁	" 4桁	<0.0006
	シマジン	0.0003	2桁	" 4桁	<0.0003
	チオベンカルブ	0.002	2桁	" 3桁	<0.002
	ベンゼン	0.001	2桁	" 3桁	<0.001
	セレン	0.001	2桁	" 3桁	<0.001
	ほう素	0.01	2桁	" 2桁	<0.01
	ふっ素	0.5(流入下水)	2桁	" 1桁	<0.5
		0.1(放流水)	2桁	" 1桁	<0.1
	1,4-ジオキサン	0.05	2桁	" 2桁	<0.05
	油分	0.5	2桁	" 1桁	<0.5
	フェノール類	0.02	2桁	" 2桁	<0.02
	銅	0.02	2桁	" 2桁	<0.02
	亜鉛	0.02	2桁	" 2桁	<0.02
溶解性鉄	0.08	2桁	" 2桁	<0.08	
全クロム	0.03	2桁	" 2桁	<0.03	
ニッケル	0.05	2桁	" 2桁	<0.05	
ダイオキシン類(注)	0.00001	2桁	" 5桁	<0.00001	
有害物質以外のもの	油分(鉱油類含有量)	0.5	2桁	" 1桁	<0.5
	油分(動植物油脂類含有量)	0.5	2桁	" 1桁	<0.5
	フェノール類	0.02	2桁	" 2桁	<0.02
	銅	0.02	2桁	" 2桁	<0.02
	亜鉛	0.02	2桁	" 2桁	<0.02
	溶解性鉄	0.08	2桁	" 2桁	<0.08
	溶解性マンガン	0.01	2桁	" 2桁	<0.01
	全クロム	0.03	2桁	" 2桁	<0.03
	全窒素	0.1	3桁	" 1桁	<0.1
	全りん	0.01	3桁	" 2桁	<0.01
	ニッケル	0.05	2桁	" 2桁	<0.05
	硫酸イオン	0.1	3桁	" 1桁	<0.1
	よう素消費量	0.1	3桁	" 1桁	<0.1
	陰イオン界面活性剤	0.1	2桁	" 1桁	<0.1
非イオン界面活性剤	0.02	2桁	" 2桁	<0.02	

(注). ダイオキシン類(排水中)のみ単位はpg-TEQ/L

ウ 汚濁負荷量測定結果（合計）

(1) COD

項目 月	COD値(mg/L)			汚濁負荷量(kg/日)		
	最大	最小	平均	最大	最小	平均
令和2年4月	8.5	7.0	7.9	1134.9	858.6	942.5
5月	8.9	6.8	7.9	1244.3	808.4	942.9
6月	8.3	5.7	7.3	1711.9	833.7	1009.8
7月	7.9	4.6	5.9	1680.5	875.4	1110.4
8月	8.2	6.7	7.6	1183.6	851.1	948.1
9月	8.5	6.6	7.8	1597.1	825.1	944.1
10月	8.3	5.6	7.4	1335.9	793.4	950.4
11月	8.9	7.1	8.0	1014.0	751.0	882.5
12月	8.6	7.3	8.0	925.4	773.4	860.1
令和3年1月	8.4	6.7	7.5	1039.3	695.3	824.2
2月	8.7	6.9	7.8	1086.4	738.5	862.7
3月	8.7	6.5	7.9	1190.7	782.9	910.1
年間	8.9	4.6	7.6	1711.9	695.3	932.8

(2) 全窒素

項目 月	全窒素(mg/L)			汚濁負荷量(kg/日)		
	最大	最小	平均	最大	最小	平均
令和2年4月	10.84	8.73	9.74	1440.3	953.1	1153.5
5月	11.53	8.27	9.92	1697.2	931.3	1175.7
6月	10.21	6.19	7.97	1738.5	841.1	1090.7
7月	7.12	4.62	5.83	1758.4	776.5	1091.2
8月	7.40	5.78	6.52	987.8	697.0	810.8
9月	8.55	5.21	6.60	1290.3	652.4	798.7
10月	9.20	6.20	8.01	1466.0	835.6	1022.4
11月	10.53	8.36	9.43	1236.9	936.3	1035.2
12月	10.72	8.47	9.65	1141.4	912.9	1027.6
令和3年1月	12.21	8.01	9.54	1354.6	797.2	1036.8
2月	9.89	8.59	9.43	1269.5	912.2	1035.3
3月	11.07	8.05	9.26	1720.8	893.8	1063.0
年間	12.21	4.62	8.49	1758.4	652.4	1028.4

(3) 全りん

項目 月	全りん(mg/L)			汚濁負荷量(kg/日)		
	最大	最小	平均	最大	最小	平均
令和2年4月	1.737	0.872	1.166	242.03	97.52	138.11
5月	1.591	0.704	1.083	226.63	86.73	128.39
6月	1.449	0.334	0.773	211.18	39.74	105.82
7月	1.709	0.298	0.899	299.64	38.00	168.24
8月	1.529	0.556	0.995	187.84	71.20	123.76
9月	1.596	0.773	1.154	231.56	93.74	139.52
10月	1.658	0.608	1.070	302.13	71.42	136.48
11月	1.689	0.877	1.190	179.01	95.01	130.54
12月	1.466	0.972	1.262	156.31	103.52	134.32
令和3年1月	1.515	0.689	1.144	174.47	68.44	124.33
2月	1.429	0.906	1.225	180.91	96.71	134.48
3月	1.424	0.894	1.218	190.13	97.47	139.79
年間	1.737	0.298	1.098	302.13	38.00	133.70

(注1) COD値、全窒素、全りんの各濃度及び各汚濁負荷量は、放流水1、放流水2の合計である。

(注2) 汚濁負荷量は、測定値の日合計量を表し、その値を排水量で除した値が濃度である。

(注3) 年間データはそれぞれ月最大の最大、月最小の最小、月平均の平均を表す。

エ 焼却灰溶出試験結果

単位：mg/L

区分	試料採取年月日 溶出試験項目	令和2年6月1日		令和2年11月10日		金属等を含む 産業廃棄物 に係る判定基 準
		埋立処分(海面埋 立処分を除く)	海面埋立処分	埋立処分(海面埋 立処分を除く)	海面埋立処分	
有	水銀又はその化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005 以下
	カドミウム又はその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.3 以下
	鉛又はその化合物	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.3 以下
	有機燐化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	1 以下
	六価クロム化合物	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	1.5 以下
	砒素又はその化合物	<0.005	<0.005	0.028	0.028	0.3 以下
害 物	シアン化合物	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1 以下
	ポリ塩化ビフェニル	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003 以下
	トリクロロエチレン	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	0.3 以下
	テトラクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
	ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.2 以下
	四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02 以下
	1, 2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.04 以下
	1, 1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	1 以下
	シス-1, 2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.4 以下
	1, 1, 1-トリクロロエタン	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	3 以下
	1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06 以下
	1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02 以下
	チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06 以下
	シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.03 以下
質	チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.2 以下
	ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1 以下
	セレン又はその化合物	0.001	0.001	0.022	0.022	0.3 以下
	1, 4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.5 以下

オ 活性汚泥・返送汚泥試験成績

区分	試験項目	年月												回数	年最大	年最小	年平均	
		令和2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年1月	2月	3月					
A	水温 (°C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-
	pH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	6.7	6.6	6.7
	MLSS (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	1,410	981	1,290
	MLVSS (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	1,230	813	1,100
	MLVSS/MLSS (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	86.4	82.7	86.7
	SV (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	31	17	37
	SVI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	225	172	258
	MLDO (mg/L) 入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	0.0	0.0	0.0
	MLDO (mg/L) 出口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	1.7	1.8	1.7
	ORP (mV) 入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	112	128	115
	ORP (mV) 出口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	228	200	202
	水温 (°C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-
	pH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	6.7	6.8	6.7
	RSSS (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	4,170	3,840	4,290
RSVSS (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	3,550	3,140	3,690	
RSVSS/RSSS (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	85.2	81.5	86.2	
SV (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	94	87	96	
SVI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	227	228	225	
系		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	244	244	244	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	230	230	230	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	92	92	92	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	86.4	86.4	86.4	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	3,450	3,450	3,450	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	3,300	3,300	3,300	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	6.8	6.8	6.8	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	3,990	3,990	3,990	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	4,290	4,290	4,290	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	3,810	3,810	3,810	

(注)年最大、年最小、年平均はそれぞれ月最大の最大、月最小の最小、月平均の平均を表す。

区分	年月		令和2年 4月												年平均 (注)		
	試験項目	年月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年 1月	2月	3月	回数		年最大 (注)	年最小 (注)
B	生物 反応 槽 混合 液	水温 (°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		pH	6.6	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.8	6.8	6.8	—	—	—	0	6.8	6.6
		MLSS (mg/L)	1,240	1,270	1,170	1,220	1,260	1,110	1,240	—	—	—	—	—	67	1,290	1,110
		MLVSS (mg/L)	1,040	1,060	955	1,010	1,050	927	1,030	—	—	—	—	—	67	1,080	927
		MLVSS/MLSS (%)	84.1	83.3	81.4	82.4	83.4	83.3	83.4	—	—	—	—	—	67	84.1	81.4
		SV (%)	22	25	34	35	43	51	43	—	—	—	—	—	67	51	22
		SVI	177	192	267	299	350	409	390	278	—	—	—	—	67	409	177
		MLDO (mg/L)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	67	0.0	0.0
		出口	1.1	1.4	1.0	0.9	1.9	1.4	1.4	—	—	—	—	—	67	1.9	0.9
		入口	124	128	118	114	86	89	115	114	—	—	—	—	67	128	86
出口	210	225	243	217	190	186	218	227	—	—	—	—	67	243	186		
系	返 送 汚 泥	水温 (°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—
		pH	6.7	6.7	6.7	6.6	6.7	6.8	6.7	—	—	—	—	—	67	6.8	6.6
		RSSS (mg/L)	4,770	4,380	4,370	4,270	3,880	3,760	3,680	—	—	—	—	—	67	4,770	3,680
		RSVSS (mg/L)	4,050	3,660	3,610	3,540	3,230	3,130	3,070	—	—	—	—	—	67	4,050	3,070
		RSVSS/RSSS (%)	85.0	83.6	82.6	82.9	83.2	83.1	83.2	—	—	—	—	—	67	85.0	82.6
		SV (%)	97	99	99	100	100	100	95	—	—	—	—	—	67	100	95
		SVI	206	226	228	234	260	269	258	—	—	—	—	—	67	269	206
		水温 (°C)	20.7	22.8	24.3	27.2	27.4	24.8	23.4	21.7	19.8	20.3	20.0	20.3	102	27.4	19.8
		pH	6.6	6.6	6.6	6.7	6.6	6.7	6.8	6.7	6.7	6.6	6.6	6.6	102	6.8	6.6
		MLSS (mg/L)	1,340	1,310	1,350	1,280	1,250	1,250	1,260	1,310	1,350	1,300	1,300	1,300	102	1,350	1,250
MLVSS (mg/L)	1,120	1,100	1,070	1,040	1,030	1,020	1,020	1,080	1,120	1,070	1,070	1,080	102	1,120	1,020		
MLVSS/MLSS (%)	83.5	81.6	81.7	80.9	81.4	81.8	81.4	80.8	82.7	83.3	82.2	82.9	102	83.5	80.8		
SV (%)	21	25	32	41	37	42	38	31	38	45	41	35	102	45	21		
SVI	160	188	247	301	290	333	299	248	293	334	316	268	102	334	160		
MLDO (mg/L)	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	102	0.1	0.0		
出口	2.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6	2.1	2.1	2.1	2.0	1.7	102	2.2	1.3		
入口	115	122	100	71	65	74	92	118	121	121	89	94	102	122	65		
出口	179	199	204	154	146	149	164	186	224	190	181	169	102	224	146		
水温 (°C)	21.0	23.1	24.6	24.7	27.6	27.4	25.5	23.9	22.3	19.9	20.1	20.3	102	27.6	19.9		
pH	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	102	6.6	6.6		
RSSS (mg/L)	5,720	5,810	6,970	6,450	7,260	6,880	7,260	7,160	8,590	7,230	7,120	7,680	102	8,590	5,720		
RSVSS (mg/L)	4,810	4,810	5,700	5,230	5,930	5,630	5,940	5,860	7,160	6,120	6,010	6,440	102	7,160	4,810		
RSVSS/RSSS (%)	84.2	82.7	81.7	81.9	81.7	81.9	81.8	81.8	83.3	84.6	84.4	83.8	102	84.6	81.7		
SV (%)	96	95	100	99	100	100	100	100	100	100	100	100	102	100	95		
SVI	182	166	147	164	146	151	142	143	117	144	146	133	102	182	117		
系	返 送 汚 泥	水温 (°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		pH	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	102	6.6	6.6
		RSSS (mg/L)	5,720	5,810	6,970	6,450	7,260	6,880	7,260	7,160	8,590	7,230	7,120	7,680	102	8,590	5,720
		RSVSS (mg/L)	4,810	4,810	5,700	5,230	5,930	5,630	5,940	5,860	7,160	6,120	6,010	6,440	102	7,160	4,810
		RSVSS/RSSS (%)	84.2	82.7	81.7	81.9	81.7	81.9	81.8	81.8	83.3	84.6	84.4	83.8	102	84.6	81.7
		SV (%)	96	95	100	99	100	100	100	100	100	100	100	100	102	100	95
		SVI	182	166	147	164	146	151	142	143	117	144	146	133	102	182	117

区分	年月		試験項目	令和2年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年	2月	3月	回数	年最大	年最小	年平均	
	4月	(°C)		(mg/L)	(mg/L)	(%)	(%)	(°C)	(mg/L)	(mg/L)	(%)	(%)	(°C)	(mg/L)	(mg/L)	(%)	(mg/L)	(%)	(注)	
D	生物反応槽混合液	水温	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	
		pH	6.6	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.8	6.8	6.8	6.7	6.6	6.6	102	6.8	6.6	6.7
		MLSS	1,310	1,370	1,320	1,340	1,310	1,240	1,240	1,240	1,210	1,240	1,300	1,280	1,270	1,320	102	1,370	1,210	1,290
		MLVSS	1,100	1,120	1,070	1,090	1,070	1,020	989	1,020	989	1,020	1,090	1,070	1,060	1,100	102	1,120	989	1,070
		MLVSS/MLSS	83.6	81.9	81.8	81.3	81.9	82.1	81.7	82.1	81.7	81.8	83.3	83.6	83.2	83.4	102	83.6	81.3	82.5
		SV	19	24	28	39	37	38	30	38	30	26	34	34	30	28	102	39	19	31
		SVI	147	177	215	287	286	309	246	309	246	208	259	263	234	211	102	309	147	237
		MLDO	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	102	0.1	0.0	0.0
		(mg/L)	2.0	1.6	1.5	1.4	1.9	1.6	2.0	1.6	2.0	2.0	2.2	2.1	2.0	2.0	102	2.2	1.4	1.9
		ORP	107	118	88	75	67	60	69	60	69	90	119	117	88	95	102	119	60	91
		(mV)	167	184	174	138	136	140	154	140	154	172	218	177	174	157	102	218	136	166
		水温	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—
		pH	6.6	6.6	6.5	6.6	6.6	6.5	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.5	6.6	6.6	102	6.6	6.5	6.6
		RSSS	6,170	6,330	6,630	6,230	6,650	6,790	6,410	6,890	6,790	6,410	6,890	8,280	7,160	7,060	102	8,280	6,170	6,870
RSVSS	5,160	5,180	5,370	5,110	5,430	5,540	5,250	5,540	5,250	5,640	6,890	6,020	5,910	6,560	102	6,890	5,110	5,670		
RSVSS/RSSS	83.7	81.8	81.0	82.1	81.7	81.7	81.8	81.7	81.7	81.9	83.2	84.2	83.7	84.1	102	84.2	81.0	82.6		
SV	95	96	100	99	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	102	100	95	99		
SVI	160	156	154	166	156	166	166	156	162	150	122	145	146	130	102	166	122	150		
水温	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—		
pH	6.6	6.6	6.6	6.6	6.7	6.6	6.6	6.7	6.6	6.7	6.7	6.6	6.6	6.5	6.5	102	6.7	6.5	6.6	
MLSS	1,430	1,450	1,320	1,320	1,290	1,200	1,260	1,290	1,200	1,260	1,390	1,380	1,490	1,460	1,380	102	1,490	1,200	1,360	
MLVSS	1,170	1,170	1,080	1,080	1,060	988	1,030	1,060	988	1,030	1,120	1,120	1,200	1,180	1,130	102	1,200	988	1,110	
MLVSS/MLSS	81.8	80.7	81.7	81.8	82.0	82.5	81.8	82.0	82.5	81.8	80.8	81.1	80.8	81.0	81.8	102	82.5	80.7	81.5	
SV	23	24	27	41	34	28	31	26	28	26	28	28	44	34	23	102	44	23	30	
SVI	163	168	206	309	267	229	247	190	206	247	190	206	292	232	163	102	309	163	223	
MLDO	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	102	0.1	0.0	0.1	
(mg/L)	1.9	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.4	1.8	1.7	1.4	1.6	1.7	1.7	1.9	2.1	102	2.1	1.4	1.7	
ORP	38	8	18	27	-1	17	11	17	17	11	47	55	37	23	24	102	55	-1	25	
(mV)	163	176	171	145	139	145	154	145	145	169	206	170	169	153	102	206	139	163		
水温	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	
pH	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	102	6.5	6.5	6.5	
RSSS	6,860	6,320	6,390	6,500	6,280	6,700	8,160	6,880	7,520	7,350	6,880	7,520	7,350	7,300	6,720	102	8,160	6,280	6,910	
RSVSS	5,620	5,130	5,220	5,360	5,140	5,520	6,740	5,620	6,130	6,000	6,130	6,000	5,980	5,980	5,490	102	6,740	5,130	5,660	
RSVSS/RSSS	82.0	81.2	81.6	82.4	82.0	82.4	82.6	81.7	81.6	81.6	81.6	81.6	81.6	82.1	81.6	102	82.6	81.2	81.9	
SV	100	97	99	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	102	100	97	100	
SVI	149	156	158	156	160	155	124	147	135	147	135	138	138	139	150	102	160	124	147	

(注)年最大、年平均はそれぞれ月最大の最大、月最小の平均を表す。

(5) 水質管理状況

施設	項目	令和2年1月				令和2年5月				令和2年6月						
		A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)		149,746				144,430				168,579					
	場内送水量 (m ³ /日)		11,386				11,128				11,351					
	滞留時間(注1) (時間)		0.6				0.6				0.5					
最 沈 池	揚水量 (m ³ /日)		150,883				145,213				169,307					
	高濃処理量 (m ³ /日)		44,568				42,764				47,494					
	生汚泥量 (m ³ /日)		22,508				22,107				23,740					
生物反応 タンク	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)		82.8				78.0				81.1					
	沈殿時間 (時間)		0.7				0.8				0.7					
	高濃処理量 (m ³ /日)		22,394				21,980				23,592					
	送送付泥量 (m ³ /日)		9,565				9,610				9,686					
	返送率 (%)		42.8				44.0				41.7					
	循環水量 (m ³ /日)		11,963				7,117				5,217					
	循環率 (%)		53.7				32.9				23.6					
	滞留時間(Q) (時間)		9.9				10.2				9.6					
	滞留時間(Q+R) (時間)		7.0				7.1				6.7					
	空気量 (m ³ /日)		61,301				64,459				66,050					
下水当り空気倍率 (倍)		2.7				3.1				2.9						
除去BOD当り空気倍率 (倍)		38.3				38.6				43.7						
除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)		0.6				0.5				0.4						
最終沈殿池	活 MLSS (mg/L)		1,240				1,290				1,270					
	性 SV (%)		22				25				34					
	汚 SVI (mg/L)		176				191				267					
	泥 RSSS (mg/L)		4,770				4,380				4,390					
	性 MLDO 入H (mg/L)		0.0				0.0				0.0					
	状 MLDO 出口 (mg/L)		1.1				1.4				1.0					
	SRT (日)		10.6				13.3				11.9					
	S A (日)		15.9				17.5				17.0					
	BOD-SS負荷 (kg/kg・日)		0.14				0.15				0.15					
	BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)		0.17				0.19				0.19					
	Ca-t(MLSS × 滞留時間) (pg/L)		12,357				13,278				12,583					
	PAC注入率 (pg/L)		290.0				280.0				130.0					
	最終流出量 (m ³ /日)		22,152				21,760				23,322					
	余剰汚泥量 (m ³ /日)		243				221				271					
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)		17.6				17.3				18.5					
越流負荷 (m ³ /m ² ・日)		52.5				51.6				55.3						
沈殿時間 (時間)		5.5				5.6				5.3						
急 過 池	処理水量 (m ³ /日)		152,717				148,403				145,543					
	滞留時間 (時間)		0.07				0.07				0.07					
	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)		383.5				343.5				336.9					
塩 素 混 和 池	放流量 ₁ (m ³ /日)		149,705				144,216				108,227					
	塩素注入率 (mg/L)		2.3				2.4				2.3					
	滞留時間 (時間)		0.4				0.4				0.3					
放流量 ₂ (注2) (m ³ /日)		1,477				1,441				1,469						

(注1) 揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。
(注2) 放流量₂ は長岡京市(勝竜寺取水)への送水量であり、放流量₁ 中の内訳量である。
(注3) 各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を算出した。

施設	項目	令和2年7月				令和2年8月				令和2年9月						
		A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)			223,873				155,536						150,776		
	場内送水量 (m ³ /日)			11,659				11,374						11,134		
	滞留時間(注1) (時間)			0.4				0.6						0.6		
最沈池	揚水量 (m ³ /日)			224,989				156,282						151,549		
	初生汚泥量 (m ³ /日)			64,376				43,465						41,741		
	生汚泥量 (m ³ /日)			149				134						137		
最沈池	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)			85.7				80.6						93.8		
	沈殿時間 (時間)			0.7				0.7						0.6		
	高液処理量 (m ³ /日)			64,102				63,412						63,353		
生物反応	返送率 (%)			9,729				16,046						7,963		
	循環水量 (m ³ /日)			36.9				19.3						19.3		
	循環率 (%)			8.5				7.4						10.6		
生物反応	滞留時間(Q) (時間)			6.1				6.2						7.0		
	滞留時間(Q+R) (時間)			67,303				176,936						186,595		
	空気量 (倍)			2.6				3.0						3.3		
生物反応	除去BOD当り空気倍率 (倍)			48.3				49.8						47.0		
	除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)			0.5				0.3						0.7		
	活性汚泥量 (mg/L)			1,170				1,340						1,220		
生物反応	SV (%)			35				39						34		
	汚泥 (mg/L)			298				301						267		
	浮遊汚泥 (mg/L)			4,370				6,250						6,650		
生物反応	浮遊汚泥 (mg/L)			0.0				0.0						0.0		
	浮遊汚泥 (mg/L)			1.0				1.4						1.9		
	SRT (日)			13.6				14.9						12.4		
生物反応	SA (日)			16.6				13.8						19.3		
	BOD-SS負荷 (kg/kg・日)			0.17				0.28						0.16		
	BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)			0.19				0.36						0.22		
生物反応	Ca-t(MLSS × 滞留時間) (pg/L)			10,389				10,723						12,112		
	PAC注入率 (pg/L)			310.0				150.0						360.0		
	終沈流出量 (m ³ /日)			26,934				63,788						21,830		
最沈池	余剰汚泥量 (m ³ /日)			193				315						240		
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)			21.4				26.1						17.4		
	越流負荷 (m ³ /m ² ・日)			63.8				75.2						52.0		
最沈池	沈殿時間 (時間)			4.6				3.9						5.5		
	処理水量 (m ³ /日)			122,974				151,306						143,427		
	滞留時間 (時間)			0.09				0.07						0.07		
最沈池	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)			284.7				350.2						332.0		
	放流量1 (m ³ /日)			223,744				155,261						150,690		
	放流量2 (m ³ /日)			2.0				2.3						2.2		
最沈池	滞留時間 (時間)			0.3				0.4						0.4		
	放流量2(注2) (m ³ /日)			1.441				1.430						1.455		

(注1) 揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。
(注2) 放流量2は長岡京市(勝竜寺取水)への送水量であり、放流量1中の内訳量である。
(注3) 各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日や分析等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を算出した。

施設	項目	令和2年11月				令和2年12月														
		A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系									
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)	159,933				139,035				134,756										
	場内送水量 (m ³ /日)	11,703				11,506				10,959										
	滞留時間(注1) (時間)	0.6				0.6				0.6										
最沈殿池	揚水量 (m ³ /日)	161,016				139,874				135,396										
	易処理量 (m ³ /日)	22,768	49,313	45,984	59,673	20,551	38,210	37,848	37,848	16,497	39,990	32,989	61,889							
	生汚泥量 (m ³ /日)	170	274	275	395	86	158	277	277	96	276	227	394							
最沈殿池	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)	78.9	74.6	74.6	78.5	40.0	77.6	72.4	71.7	41.4	75.7	78.2	87.4							
	沈殿時間 (時間)	0.8	0.8	0.8	0.8	1.5	0.8	0.8	0.8	1.4	0.8	0.8	0.7							
	高液処理量 (m ³ /日)	22,598	49,038	45,709	59,277	14,130	20,393	37,833	37,871	16,401	39,713	32,771	61,494							
最沈殿池	返送汚泥量 (m ³ /日)	9,555	9,459	8,824	11,746	7,286	9,325	7,306	7,230	8,286	7,617	6,244	11,848							
	返送率 (%)	42.5	19.2	19.3	19.8	52.3	46.1	19.3	19.2	50.5	19.2	19.0	19.3							
	循環水量 (m ³ /日)	275	769	652	953	3,350	3,689	12,854	11,768	15,876	39,718	28,330	42,584							
最沈殿池	循環率 (%)	1.3	1.8	1.6	1.7	22.3	18.8	35.2	32.0	26.9	99.4	86.9	69.2							
	滞留時間(Q) (時間)	9.9	9.4	10.0	10.1	12.2	10.6	11.8	11.9	11.0	11.2	10.9	10.6							
	滞留時間(Q+R) (時間)	6.9	7.9	8.4	8.5	8.0	7.3	9.9	9.9	9.2	7.8	9.4	8.9							
生物反応	空気量 (m ³ /日)	69,265	190,950	179,055	171,611	32,666	68,030	158,441	161,107	46,302	150,404	122,133	191,002							
	下水当り空気倍率 (倍)	3.1	4.0	4.0	2.9	2.3	3.3	4.2	4.3	2.8	3.8	3.7	3.1							
	除去BOD当り空気倍率 (倍)	50.2	54.5	60.9	42.1	2.3	48.3	50.1	51.2	38.2	37.7	35.7	30.0							
生物反応	除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)	0.5	0.8	0.4	0.6	0.6	0.8	0.6	0.4	0.5	0.4	0.5	0.7							
	活性汚泥 (mg/L)	1,110	1,260	1,210	1,260	981	1,240	1,260	1,240	1,400	1,310	1,300	1,380							
	性SV (%)	43	38	30	31	17	34	31	26	26	31	34	28							
最沈殿池	汚泥 (mg/L)	3,760	7,260	6,410	8,160	3,840	3,680	7,160	6,890	4,170	8,590	8,280	7,520							
	性MLDO入H (mg/L)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
	性MLDO出口 (mg/L)	1.4	1.6	2.0	1.4	1.8	1.4	1.6	2.0	1.6	2.1	2.2	1.7							
最沈殿池	SRT (日)	14.2	10.1	13.7	15.1	26.9	12.6	15.0	14.5	12.8	14.4	12.2	10.1							
	S A (日)	16.0	14.2	15.1	13.2	26.9	19.2	17.7	18.4	16.3	16.2	15.0	14.0							
	BOD-SS負荷 (kg/kg・日)	0.15	0.15	0.15	0.14	0.13	0.13	0.14	0.16	0.14	0.16	0.18	0.18							
最沈殿池	BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)	0.17	0.19	0.17	0.18	0.17	0.17	0.18	0.20	0.19	0.21	0.23	0.24							
	Ca-t(MLSS×滞留時間) (pg/L)	11,408	12,570	12,816	13,160	11,883	13,167	14,561	14,647	16,270	14,535	14,292	14,578							
	PAC注入率 (pg/L)	670.0									900.0									
最沈殿池	終沈流出量 (m ³ /日)	22,360	48,699	45,430	58,955	14,030	20,102	37,675	37,316	16,083	39,442	32,536	61,020							
	余剰汚泥量 (m ³ /日)	239	340	279	323	235	291	259	255	319	271	236	475							
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)	17.8	19.9	18.8	22.0	16.0	16.4	15.4	15.3	16.4	16.1	16.6	22.2							
最沈殿池	越流負荷 (m ³ /m ² ・日)	53.0	57.4	54.2	107.4	63.3	48.9	44.4	44.2	64.8	46.5	48.0	108.3							
	沈殿時間 (時間)	5.4	5.0	5.2	4.4	4.5	5.9	6.3	6.3	4.4	6.0	5.8	4.3							
	処理水量 (m ³ /日)	145,292				147,803				144,071										
最沈殿池	滞留時間 (時間)	0.07				0.07				0.07										
	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)	336.2				342.1				333.5										
	塩素注入率 (mg/L)	159,538				139,227				134,888										
最沈殿池	滞留時間 (時間)	0.3				0.4				0.4										
	放流量 1 (m ³ /日)	1,444				1,378				1,396										
	放流量 2(注2) (m ³ /日)																			

(注1) 揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。
(注2) 放流量 2 は長岡京市(勝竜寺圃水)への送水水量であり、放流量 1 中の内訳量である。
(注3) 各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を算出した。

施設	項目	令和3年1月				令和3年2月				令和3年3月						
		A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)			136,797					137,317					144,455		
	場内送水量 (m ³ /日)			10,607					10,637					11,072		
	滞留時間(注1) (時間)			0.6					0.6					0.6		
最終沈殿池	揚水量 (m ³ /日)			137,393					137,559					144,792		
	初生汚泥量 (m ³ /日)	16,486		41,622	32,509	61,783	16,434		41,846	32,640	62,665	16,641		44,927	34,523	65,156
	水面積負荷 (m ² /m ² ・日)	95	274	211	211	395	96	60	274	218	395	96	276	212	212	400
最終沈殿池	滞留時間(注1) (時間)	41.4	69.8	82.1	81.0	81.0	41.3		71.1	80.6	81.6	41.8		75.5	77.7	84.8
	沈殿時間 (時間)	1.4	0.9	0.7	0.8	0.8	1.4		0.9	0.8	0.8	1.4		0.8	0.8	0.7
	高濃処理量 (m ³ /日)	16,390	41,348	32,297	61,388	16,338	16,338		41,571	32,422	62,270	16,545		44,651	34,310	64,755
最終沈殿池	返送汚泥量 (m ³ /日)	8,264	10,306	7,538	15,628	8,241	8,241		7,962	6,200	11,989	8,337		8,606	6,605	12,476
	返送率 (%)	50.4	25.3	23.6	25.8	50.4	50.4		19.2	19.1	19.3	50.4		19.2	19.2	19.3
	循環水量 (m ³ /日)		47,143	33,846	46,918				36,031	26,584	36,838			35,302	25,961	35,931
最終沈殿池	循環率 (%)		116.8	106.1	77.3				87.5	82.4	59.5			80.8	76.4	56.3
	滞留時間(Q) (時間)	11.7	10.8	10.4	10.6	11.7	11.7		10.8	10.3	10.5	11.6		10.1	9.8	10.1
	滞留時間(Q+R) (時間)	7.8	8.7	8.4	8.5	7.8	7.8		9.0	8.7	8.8	7.7		8.4	8.2	8.5
生物反応	空気量 (m ³ /日)	50,397	165,613	126,802	199,824	45,755	45,755		152,972	121,600	201,086	46,198		158,569	124,224	202,356
	下水当り空気倍率 (倍)	3.1	4.0	3.9	3.3	2.8	2.8		3.7	3.8	3.2	2.8		3.6	3.6	3.1
	除去BOD当り空気倍率 (倍)	38.0	35.0	32.1	28.0	35.4	35.4		34.9	35.5	29.4	36.8		31.9	32.2	27.5
生物反応	除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)	0.9	0.6	0.6	0.5	0.7	0.7		0.7	0.7	0.5	0.8		0.6	0.7	0.5
	活性MLSS (mg/L)	1,410	1,350	1,280	1,490	1,290	1,290		1,300	1,270	1,460	1,360		1,300	1,320	1,380
	性SV (%)	37	45	34	44	27	27		41	30	34	26		35	28	23
最終沈殿池	汚泥RSSL (mg/L)	258	334	292	208	208	208		316	234	232	194		268	211	163
	性MLDO入H (mg/L)	4,290	7,230	7,160	7,350	3,810	3,810		7,120	7,060	7,300	3,990		7,680	7,810	6,720
	状態MLDO出口 (mg/L)	1.8	2.1	2.1	1.7	1.7	1.7		2.0	2.0	1.9	1.8		1.7	2.0	2.1
最終沈殿池	SRT (日)	8.8	11.1	10.5	12.0	8.7	8.7		10.1	11.2	10.6	8.1		12.3	10.6	10.2
	S A (日)	26.4	15.1	13.6	16.0	24.1	24.1		14.5	14.5	16.2	26.0		13.0	13.2	13.1
	BOD-SS負荷 (kg/kg・日)	0.12	0.19	0.23	0.19	0.13	0.13		0.19	0.19	0.18	0.12		0.22	0.23	0.22
最終沈殿池	BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)	0.18	0.26	0.28	0.27	0.17	0.17		0.25	0.25	0.27	0.17		0.28	0.29	0.29
	Car+1(MLSS × 滞留時間) (pg/L)	16,882	14,946	13,565	15,826	15,176	15,176		13,605	13,019	15,168	15,700		13,628	13,182	14,310
	PAC注入率 (pg/L)		1200.0		890.0											
最終沈殿池	終沈流出量 (m ³ /日)	16,042	41,015	32,031	60,907	15,995	15,995		41,242	32,185	61,746	16,191		44,345	34,057	64,196
	余剰汚泥量 (m ³ /日)	348	333	267	481	344	344		329	238	525	354		307	254	559
	水面積負荷 (m ² /m ² ・日)	16.4	16.8	17.4	22.1	16.3	16.3		16.9	17.4	22.4	16.5		18.1	18.6	23.3
最終沈殿池	越流負荷 (m ³ /m ² ・日)	64.7	48.4	50.4	108.1	64.5	64.5		48.6	50.2	109.6	65.3		52.3	53.5	114.0
	沈殿時間 (時間)	4.4	5.8	5.5	4.4	4.4	4.4		5.7	5.6	4.3	4.4		5.3	5.2	4.1
	処理水量 (m ³ /日)	138,845							142,104			143,065				
最終沈殿池	滞留時間 (時間)	0.07							0.07							
	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)	321.4							328.9					331.2		
	塩素注入率 (mg/L)	136,059							137,812					144,304		
最終沈殿池	滞留時間 (時間)	2.3							2.4					2.4		
	滞留時間 (時間)	0.4							0.4					0.4		
	放流量2(注2) (m ³ /日)	1,295							1,404					1,411		

(注1)揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。
(注2)放流量2は長岡京市(勝竜寺堀水)への送水量であり、放流量1中の内訳量である。
(注3)各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日や分析の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を算出した。

施設	項目	年間平均値(注4)				
		A系	B系	C系	D系	E系
光砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)	153,769				
	場内返送水量 (m ³ /日)	11,210				
	滞留時間(注1) (時間)	0.6				
	揚水量 (m ³ /日)	154,519				
	簡易処理量 (m ³ /日)	23,347	45,028	39,793	64,670	64,670
	生汚泥量 (m ³ /日)	94	133	275	245	397
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)	41.2	82.3	73.2	76.4	81.3
	沈殿時間 (時間)	1.4	0.7	0.8	0.8	0.8
	高級処理量 (m ³ /日)	15,961	23,205	44,753	39,547	64,272
	返送汚泥量 (m ³ /日)	8,083	9,880	8,809	7,700	12,715
返送率 (%)	50.8	42.8	19.7	19.5	19.9	
循環水量 (m ³ /日)	3,350	5,652	26,334	19,100	28,869	
循環率 (%)	22.3	26.1	64.0	57.6	46.3	
滞留時間(Q) (時間)	11.8	9.9	10.3	10.2	10.1	
滞留時間(Q+R) (時間)	7.8	6.9	8.6	8.5	8.5	
空気量 (m ³ /日)	44,264	69,309	166,527	145,918	191,490	
下水量当り空気倍率 (倍)	2.8	3.0	3.8	3.8	3.0	
除去BOD当り空気倍率 (倍)	37.0	45.1	39.9	44.2	33.9	
除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)	1.0	0.6	0.5	0.5	0.6	
生物反応 タンク	活性汚泥 (mg/L)	1,290	1,230	1,310	1,290	1,360
	SV (%)	28	36	36	31	30
	汚泥 (mg/L)	211	295	273	237	223
	RSSS (mg/L)	4,020	4,190	7,010	6,870	6,920
	性MLDO入口 (mg/L)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	性MLDO出口 (mg/L)	1.8	1.3	1.7	1.9	1.7
	SRT (日)	8.5	12.5	13.9	14.0	12.6
	S A (日)	25.2	17.6	14.4	15.4	14.3
	BOD-SS負荷 (kg/kg・日)	0.12	0.15	0.19	0.18	0.17
	BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)	0.17	0.18	0.24	0.22	0.23
Ca・L(MLSS × 滞留時間) (g/L)	15,053	12,338	13,431	13,249	13,853	
PAC注入率 (g/L)	607.5					
最終沈殿池	終沈流出量 (m ³ /日)	15,668	22,952	44,463	39,297	63,825
	余剰汚泥量 (m ³ /日)	325	253	291	251	448
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)	16.3	17.9	18.2	18.2	23.2
	越流負荷 (m ³ /m ² ・日)	65.0	53.2	52.4	52.6	113.5
急流池	沈殿時間 (時間)	4.4	5.5	5.5	5.4	4.2
	処理水量 (m ³ /日)	143,791				
	滞留時間 (時間)	0.07				
	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)	332.8				
混合池	放流量1 (m ³ /日)	153,639				
	塩素注入率 (mg/L)	2.3				
	滞留時間 (時間)	0.4				
	放流量2(注2) (m ³ /日)	1,420				

(注1)揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。
(注2)放流量2は長岡京市(勝竜寺排水)への送水量であり、放流量1中の内訳量である。
(注3)各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を求めたものを年間平均値とした。
(注4)年間平均値は月平均の平均値を表す。

(6) 流入下水・放流水質の経年変化

試験項目			流入下水									
			28年度		29年度		30年度		31年度		令和2年度	
			年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均
pH	(年最小)		7.7	7.4	7.7	7.3	7.6	7.2	7.7	7.3	7.6	7.3
		(7.0)		(6.9)		(6.9)		(6.9)		(7.0)		
BOD	(mg/L)	178	132	204	136	175	124	177	125	148	118	
SS	(mg/L)	188	113	150	108	136	97	162	92	126	85	
大腸菌群数	(個/cm ³)	350,000	170,000	570,000	170,000	510,000	160,000	520,000	170,000	440,000	150,000	
全窒素	(mg/L)	30.5	23.8	28.1	23.2	38.6	25.4	29.3	24.3	26.7	22.6	
全りん	(mg/L)	3.40	2.57	3.41	2.46	3.76	2.69	3.29	2.66	3.17	2.51	
カドミウム	(mg/L)	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
シアン	(mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
有機りん	(mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
鉛	(mg/L)	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.006	<0.006	<0.006	<0.006	
六価クロム	(mg/L)	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.97	0.19	<0.04	<0.04	
ひ素	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
アルキル水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
PCB	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	
テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
シクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
1,2-シクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	
1,1-シクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
シス-1,2-シクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
1,3-シクロロプロポレン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	
チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
セレン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
ほう素	(mg/L)	0.12	0.10	0.13	0.10	0.12	0.09	0.11	0.10	0.13	0.09	
ふっ素	(mg/L)	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	<0.1	0.1	<0.1	
アンモニア性窒素等含有量	(mg/L)	7.3	5.6	17.0	13.7	30.0	14.9	18.5	14.7	18.9	14.6	
1,4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	0.15	0.15	0.35	0.35	0.52	0.52	0.14	0.14	0.031	0.031	
油分(鉱油類含有量)	(mg/L)	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
油分(動植物油脂類含有量)	(mg/L)	16	9.3	22	9.0	25	12	18	15	13	11	
フェノール類	(mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.07	0.02	0.05	0.03	0.03	0.02	
銅	(mg/L)	0.03	0.03	0.03	<0.02	0.04	0.02	0.06	0.03	0.02	0.02	
亜鉛	(mg/L)	0.07	0.06	0.08	0.04	0.11	0.05	0.07	0.07	0.07	0.06	
溶解性鉄	(mg/L)	0.31	0.25	0.23	0.10	0.24	0.11	0.22	0.20	0.21	0.17	
溶解性マンガン	(mg/L)	0.10	0.08	0.07	0.03	0.09	0.03	0.06	0.05	0.07	0.05	
全クロム	(mg/L)	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	1.3	0.26	<0.03	<0.03	
ニッケル	(mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
硫酸イオン	(mg/L)	29.4	25.5	28.9	22.9	29.5	25.1	29.1	24.6	29.4	24.5	
よう素消費量	(mg/L)	11.8	8.9	13.7	7.1	12.6	8.7	11.7	7.6	8.7	7.0	

(注) 年最大、年平均はそれぞれ全データの最大、全データの平均を表す。

試験項目		試料名 年度	放 流 水									
			28年度		29年度		30年度		31年度		令和2年度	
			年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均
p H			7.2	6.9	7.6	7.0	7.3	6.8	7.8	7.0	7.4	6.9
	(年最小)	(6.6)		(6.6)		(6.4)		(6.7)		(6.7)		
B O D	(mg/L)	5.4	2.7	5.3	2.6	8.0	2.4	25.7	3.9	5.2	2.1	
S	(mg/L)	3	<1	1	<1	6	<1	7	<1	2	<1	
大腸菌群数	(個/cm ³)	8	1	14	1	9	1	14	0	10	0	
全窒素	(mg/L)	11.0	8.7	9.9	8.2	12.9	8.8	23.2	9.9	10.1	7.7	
全りん	(mg/L)	1.82	1.21	1.96	1.26	2.14	1.22	1.85	1.26	1.90	1.20	
カドミウム	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
シアン	(mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
有機りん	(mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
鉛	(mg/L)	<0.006	<0.006	0.014	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	
六価クロム	(mg/L)	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.18	<0.04	<0.04	<0.04	
ひ素	(mg/L)	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	
総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
アルキル水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
P C B	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	
テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
シクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
1,2-シクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	
1,1-シクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
1,3-シクロプロパン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	
チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
セレン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
ほう素	(mg/L)	0.12	0.10	0.13	0.10	0.11	0.09	0.11	0.10	0.11	0.09	
ふっ素	(mg/L)	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	
アンモニア性窒素等含有量	(mg/L)	10.0	7.3	8.7	7.0	11.4	7.4	9.9	7.6	9.3	7.0	
1,4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	0.00017	0.00017	0.00023	0.00023	0.00006	0.00006	0.00035	0.00035	0.00018	0.00018	
油分(鉱油類含有量)	(mg/L)	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
油分(動植物油脂類含有量)	(mg/L)	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
フェノール類	(mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
銅	(mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
亜鉛	(mg/L)	0.04	0.04	0.06	0.04	0.04	0.03	0.04	0.03	0.04	0.03	
溶解性鉄	(mg/L)	<0.08	<0.08	0.1	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	
溶解性マンガン	(mg/L)	0.07	0.04	0.08	0.03	0.05	0.03	0.06	0.03	0.05	0.03	
全クロム	(mg/L)	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.28	<0.03	<0.03	<0.03	
ニッケル	(mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
陰イオン界面活性剤	(mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
非イオン界面活性剤	(mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
COD汚濁負荷量	(kg/日)	2089.3	1142.9	3318.6	1127.2	5569.7	1138.3	2304.9	1047.1	1711.9	932.8	
T・N汚濁負荷量	(kg/日)	1866.6	1070.8	3332.0	1048.7	3963.1	1043.2	2841.8	1107.7	1758.4	1028.4	
T・P汚濁負荷量	(kg/日)	460.35	135.29	318.45	137.58	577.99	134.78	474.11	130.51	302.13	133.70	

(注) 年最大、年平均はそれぞれ全データの最大、全データの平均を表す。